

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	山形県庄内総合支庁
実習期間	平成 30 年 2 月 13 日 ～ 平成 30 年 2 月 21 日
学生氏名	芦野 秀樹
実習プログラム	1 日目 総務企画部 総務課 2 日目 保健福祉部 環境課 3 日目 総務企画部 総務課 防災支援室 4 日目 総務企画部 総務課 連携支援室 5 日目 産業経済部 地域産業経済課 観光振興課
学び・気づき	5 日間いずれも違う部、課、室に研修させていただき、事務仕事であったり、実際に現場に出たりなど様々な体験をさせていただきました。公務員というとお堅いイメージを持っていたのですが、職場のイメージは明るく、和やかなものでした。情報共有を常に忘れず、コミュニケーションを部内、課内、島ごとにとることが非常に印象的でした。コンピュータが普及してデスクワークが増えている現在の仕事ではありますが、人とのつながりを大切にすることは変わらないものであると今回のインターンシップで感じました。
今後に向けた抱負	公務員という仕事の内容がわかりづらい職業の内容を体験してきたことで、更に公務員になりたいという気持ちが強くなりました。2 年生から政策コースに所属するので、まずは専門科目をしっかりと勉強していきたいと思います。また、多くの方と会話して、私が所属しているおもてなし隊には、ぜひ頑張っていたきたいとの声を数多くいただきました。今年は企画が盛りだくさんなので積極的に参加していきたいと思います
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力	公務員の仕事は数年で配属が変わってしまいます。今までは、中途半端になってしまいうので、反対していました。しかし、多くの方から、短い時間だからこそ全力で取り組むことが出来るし、多くの仕事を体験することで自身のスキル向上にもつながるとのお話をいただきました。また、どの仕事においても、県民、地域住民のためになる仕事は少ないとおっしゃっていました。もちろん、自分の苦手な仕事につくことも多々あるとは思いますが、社会人になっても勉強する姿勢は変わらないと多くの方々とのコミュニケーションをとる中で感じ取ることが出来ました。

写真 (1~3点)



(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿

実習企業・機関	山形県庄内総合支庁
実習期間	平成 30 年 2 月 13 日 ～ 平成 30 年 2 月 21 日
学生氏名	佐々木響
実習プログラム	<p>1 日目 総務企画部 総務課、総合案内 (パネル展示、行政資料棚の整理、庁内部長会議の準備、文書廃棄 等)</p> <p>2 日目 保健福祉環境部 環境課 (部内課長会議陪席、台帳整理、海岸漂着物モニタリング調査、各分野に関する受講 等)</p> <p>3 日目 総務企画部 総務課 防災安全室 (防災講演会資料準備、交通安全啓発物品作成、会場設営、説明会・講演会への参加 等)</p> <p>4 日目 総務企画部 総務課 連携支援室 (各業務の受講、協力隊研修会チラシ作成、地域おこし協力隊ヒアリング同行 等)</p> <p>5 日目 産業経済部 地域産業経済課 (食の都庄内の受講、庄内町クラスセ取材・見学、Facebook 記事作成、庄内神社同行、支庁長と懇談)</p>
学び・気づき	<p>総務企画部長とお話をした際、「公務員は 360 度の分野に関わる可能性を持っているため、知識は幅広く身に付けておくべきだ。」というお言葉をいただいた。私は事前学習の時点で企画調整に興味がある、とひとつのことだけに集中し、簡単にテーマを掲げてしまっていたが、様々な課で広い分野に触れさせていただいたことで視野を広げることの重要性や新しい知識に触れることの面白さに気付くことができた。その気づきの中で今までの自分を振り返ってみると、例えば得意科目には学習意欲を示して何度も繰り返し勉強するのに対して苦手科目は後回しにしてしまうというように、私には苦手分野を克服しようとするよりも興味のあることばかりを優先してしまう短所があるということにも気付くことができた。そのため、特に今後の公務員試験に向けた勉学ではいただいた言葉を念頭において励んでいきたい。</p>
今後に向けた抱負	<p>毎日別の課を体験させていただき、たくさんの方と話をした際に社会に関する自分の知識の無さを感じた。外に出る業務の移動中に車内で、オリンピックについての話を振っていただいたが、私はスポーツには無頓着でニュースにもあまり興味を持っていなかったため、上手く答えることができなかった。そのため今後は自分の興味のある分野だけではなく、日頃から新聞やニュースに触れ、もっと知識の幅を広げるべきだと思った。</p>

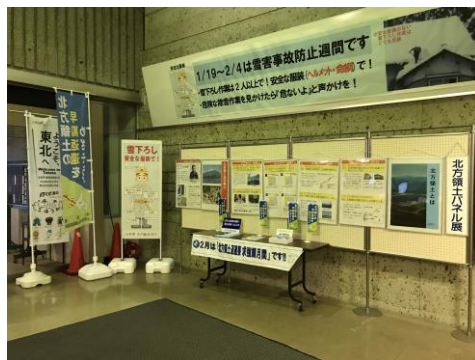
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力

総務課の来客入り口に傘福が飾られていたり、廊下にパンフレットやポスターがとても多くあったりしたことから、庄内総合支庁は庄内地域にしっかり根差していると感じた。様々な分野がひとつにまとまった大機関であることを活かしながら外への情報発信にとっても力を入れていた。また、平成 26 年からおもてなし推進対策として働く社会人としての基本的なマナーや挨拶を見直す活動を実施しているところがとても魅力的だと感じた。具体的には朝礼で数分の時間を設けて挨拶の復唱やお客様の対応ポイントの確認を行っており、庁舎内で働く者同士で普段から心がけてお客様への対応の向上やおもてなしの精神を育てることが素晴らしい活動であり、働く上での性格的な気配りも身につくため、良いと思った。

写真 (1~3 点)



左図は、支庁の入口付近にある来客向けの庄内地域に関するパンフレットである。1 日目の総合案内での業務の中で「このパンフレットを眺めただけでも庄内が今どんなことに力を入れているのかがわかる」というお言葉をいただいたことがとても印象的だった。



1 日目の総合案内業務として実際にパネル展示した写真である。

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	庄内総合支庁
実習期間	平成29年9月5、6日,平成29年9月13、14、15日
学生氏名	高橋 結
実習プログラム	<p>1日目（子ども支援課）</p> <p>8：30 オリエンテーション</p> <p>9：00 放課後児童クラブ講習の受付業務</p> <p>9：30 子ども家庭支援課全体のお話を聞く</p> <p>10：40 母子保健担当についてのお話を聞く</p> <p>11：15 青少年健全育成施策についてのお話を聞く</p> <p>13：00 児童福祉施設の書類確認作業</p> <p>14：40 NPO 法人の方とイベントの打ち合わせ</p> <p>16：30 日誌記入</p> <p>2日目（環境課）</p> <p>8：30 環境行政全般及び環境課担当業務に関するオリエンテーション</p> <p>10：00 環境やまがた推進本部幹事会（庁内 Web 会議）陪席</p> <p>11：15 海岸漂着物対策に関するオリエンテーション</p> <p>13：00 海岸漂着物現地調査・ゴミ拾い</p> <p>14：00 産業廃棄物資料の整理</p> <p>16：30 日誌記入</p> <p>3日目（地域保健福祉課）</p> <p>8：30 地域保健福祉課に関するガイダンス</p> <p>10：00 障害者施設ロビーバザーに係る販売展示の設営補助・見学</p> <p>13：30 ロビーバザーの片付け</p> <p>14：00 障害者の就労支援に関するオリエンテーション</p> <p>14：45 高齢者寿賀事業の郵送賞状の並べ替え作業</p> <p>15：40 認知症サポーター養成に関する DVD を見る</p> <p>16：15 配布資料の準備</p> <p>16：45 日誌記入</p>

	<p>4日目（保健企画課）</p> <p>8：30 オリエンテーション</p> <p>9：00 保健所の概要、禁煙スキルアップ研修に関するお話を聞く</p> <p>9：30 禁煙スキルアップ研修会の準備</p> <p>10：00 受動喫煙防止の啓発関係業務</p> <p>11：00 課内の事務補助</p> <p>13：00 禁煙スキルアップ研修会への参加</p> <p>15：00 受動喫煙防止啓発関係業務</p> <p>16：30 日誌記入</p> <p>5日目（保健企画課・地域保健福祉課）</p> <p>8：30 イベントの景品の袋詰め作業</p> <p>10：00 受動喫煙防止の啓発資料の作成</p> <p>11：00 課内の事務補助</p> <p>12：45 地域ふれあい講座への参加</p> <p>16：00 日誌記入</p>
<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>県で行われている活動は、すべてその地域のデータや地域の人々の声などから分析し課題を発見して、問題解決に向けどんなところに力をいれてどのように取り組みを行っていくのかを明確にして動いていた。</p> <p>今回の実習ではさまざまな課でいろんな業務を体験してきたが、パソコンに向かう作業だけでなく、イベントの会場設営、景品の袋詰め、受付業務など意外な仕事内容のたくさんあった。</p> <p>地域の課題解決に向けて、総合支庁ではNPOや地域の企業などと連携し共に考え協力して行っている事業が多いという印象を受けた。この仕事には地域の人の理解や信頼を得られるように努めていく必要がある。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今回の実習では、たくさんの仕事を経験する中で、今まで学校で学んできたことが意外なところで生かされてきた部分がたくさんあった。また、もっと詳しく知識があればスムーズにこなせたと感じた業務の内容もあった。大学での学びが思わぬところで生かされてくるということを実感したので、今後はさらに大学の講義や生活での学びを自分のものにできるよう意識していきたい。</p> <p>また、課題を見つけその問題をどのように解決していくか考える力も身につけていきたいと感じた。</p>

インターンシ
ップをして気づ
いた、実習先の魅力
(300字)

私が思っていたよりも地域の大学や企業、団体と協力していることが多かった。特に感じたのは子ども支援課での実習での NPO の団体との共同事業の打ち合わせの際の雰囲気が和気あいあいとしていた。婚活イベントの打ち合わせであったが、一緒に地域をしようと協力してイベントを進めていくことで仕事のやりがいもより感じられるのではないかと思った。

さまざまな分野の仕事があるためそれに対応していくのは難しいが、いろいろな分野での経験が可能であると思った。自分にとってのスキルも働いていくにつれてどんどんと積んでいくことができると感じた。

写真 (1~3点)



大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	山形県庄内総合支庁産業経済部地域産業経済課（観光振興室）
実習期間	平成 29年 3月 2日 ～ 平成 29年 3月 7日
学生氏名	斎藤菜月
実習プログラム	<p>一日目（3/2）</p> <p>午前：観光振興業務、日本海きらきら羽越観光圏推進協議会業務の概要説明</p> <p>午後：出羽庄内地域デザイン、庄交ハイヤー、湯浜温泉一久さんの話</p> <p>・二日目（3/3）</p> <p>午前：会計、ホームページ作成業務</p> <p>午後：3/5きらきら羽越乗車準備</p> <p>・三日目（3/5）</p> <p>きらきら羽越乗車、アナウンスやお菓子の振る舞い</p> <p>・四日目（3/6）</p> <p>午前：松文産業、宏和工場の企業見学</p> <p>午後：庄内ヨロズ代表取締役の講和</p> <p>・五日目（3/7）</p> <p>午前：地域産業経済課の業務概要説明、意見交換会</p> <p>午後：インターンシップまとめ</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>まず、基本的なマナーとして遅刻しないことです。仕事というのは期限や時間が守られて初めてスムーズに成り立つものだとことを学びました。また、観光振興室では若者を呼び込むために SNS を利用したり、地域の企業と連携して庄内を発信していました。実際に庄内に来ていただいたお客様に対して、おもてなしの心と感謝の気持ちは忘れてはいけません。地域産業経済課では山形県の人口減少が激しく、そのために U・I ターン者のための就職促進事業に力を入れています。また、若者を県内に流出させないために県内就職の良さを、高校生を対象にたくさんの人知ってもらう活動をしていました。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>まず、遅刻やマナーについてです。遅刻というのは未然に防ぐことができます。毎日の生活の中で、授業に遅れない、提出物の期限をしっかりと守る、このような小さなことを余裕をもってしっかりできるようにこれからは生活したいです。</p> <p>今回たくさんの人とお話することが出来ませんでした。このような場面に慣れていなかったので緊張して会話を広げることが出来なかったからです。だから、話題が広がるように本や新聞などを読んでもっと知識をつけ、どんな立場の人とも自信を持って話せるようになりたいです。</p>

インターンシ
ップをして気づ
いた、実習先の魅力
(300字)

観光振興室、地域産業経済課どちらにも共通して言えることは、どちらも実際に企業に足を運ぶことが多く、活発に活動しています。企業見学に行き、企業が地域にどのように貢献しているのか自分の目で見る事が出来ます。

また地域のことについて多角的な面から考えることができます。様々な課があり、課で異動が多いため、自分が初めて関わる分野で地域の現状を知ることができます。

写真 (1~3点)



(別紙12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	山形県庄内総合支庁・産業経済部地域産業経済課	
実習期間	平成 29年 3月 2日 ～ 平成 29年 3月 7日	
学生氏名	長里歩可	
実習プログラム	3月2日 (木)	・観光振興業務の概要説明
		・日本海きらきら羽越観光圏推進協議会の業務説明
		・(株)出羽庄内地域デザイン 訪問
		・庄交ハイヤー 訪問
		・湯野浜温泉 一久 訪問
	3月3日 (金)	・庄内観光コンベンション協会業務 会計
		・庄内観光コンベンション協会業務 ホームページ作成
		・3月5日(日) 「きらきらひな街道おもてなし」のミーティング、準備
	3月5日 (日)	・JR列車「きらきらうえつ」乗車 (ふるまい、観光案内：新潟駅～酒田駅)
	3月6日 (月)	・松文産業株式会社 鶴岡工場 訪問
		・宏和工業株式会社 訪問
・鶴岡高専産学合同研究発表会 (株)ヨロズ 聴講		
・学生就職説明会の準備		
3月7日 (火)	・産業振興業務の概要説明	
	・意見交換(若者の地元定着について)	
学び・気づき (300字程度)	<p>インターンシップ一日目、初日にもかかわらず、10分遅刻してまった。インターン指導者の大津さんから指導を受け、社会人として基本を学んだ。学生だから許されるだろうという安易な考えを心のどこかで思っていたことが原因だと思う。日誌にも、遅刻のことを書いたら、観光振興室の杉山さんから、遅刻することは、到着することを待っていた人の時間を無駄にしまうこと、とおっしゃっており、勉強になった。春休みということもあり、たるんでいた気持ちが引き締まった。これらのことは社会人になっても忘れないようにしたい。</p>	
今後に向けた抱負 (200字程度)	<p>正直、大学に入学してから、少しずつ公務員になることを諦めていた。理由は、先輩や先生の話から合格率は低いということ、受験のときのようにまた失敗したくない、挑戦はしたくないという気持ちからだ。だが、インターンシップをしてみて公務員として働きたいと強く思ったし、自分に向いている仕事だと思った。4月からは2年生、本格的に取り組んでみようと思う。</p>	
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	<p>インターンシップは自分の将来の夢を明確にするだけでなく、今ある自分の力と向き合うことのできる機会になる。 私はこのインターンシップでコミュニケーション能力が少ないと強く感じた。これからはバイト先や日々の学校生活でこの力を社会人になるまで研いて行きたいと思う。</p>	

写真 (1~3点)

